

### 事例Ⅲ－５ 海外における日本産木材製品のプロモーション活動

日本産の木製家具、木製食器、伝統工芸品等の木材製品は、高い加工技術やデザイン性の良さから、近年、輸出額が増加傾向にある。更なる輸出拡大に向けて、株式会社ぐるなび（東京都千代田区）は、海外の消費者、企業等に向けた日本産木材製品のプロモーション活動を実施し、日本産木材製品の認知度向上に取り組んでいる。

同社は、2025年9月に、シンガポールの複合施設DUO Galleriaにおいて日本産木材製品の展示イベントを開催した。イベントでは木製食器や小物入れといった日本産木材製品のほか、日本のウッドデザイン賞受賞作品も展示され、受賞作品を製作した事業者も当イベントに参加した。

イベントを訪れた現地の消費者からは、日本の木材加工技術の高さを評価する声が聞かれるなど、参加した事業者が現地の消費者の反応を直接肌で感じられる機会となった。参加した事業者からは、「日本の木材製品について消費者が好印象を抱いていることが分かった」「日本ほど木工文化が浸透していないことから、質の高い木材製品の魅力や価値を消費者に伝えるためには、情報を発信し、理解の醸成を促す必要がある」といった声が聞かれた。

今後も、このような取組が広がることにより、海外における日本産木材製品の認知度向上や国内事業者の輸出に向けた機運醸成につながることを期待される。



木製食器等の日本産木材製品を展示



展示イベントの様子